

ビジネス系①：21世紀型高度ビジネス人材を目指して

授業科目	つながる力・資格
入門マネジメント 実践マネジメント	ビジネスやマネジメントの意義を理解する力

なお、学部によって各科目の単位認定や単位制限の取り扱いが異なります。詳細は、各学部の履修要項を必ず参照してください。

「入門マネジメント」： 組織をマネジメントする前に、自分をマネジメントできる人になる

なお、学部によって各科目の単位認定や単位制限の取り扱いが異なります。詳細は、各学部の履修要項を必ず参照してください。

・クラスの目的：マネジメントに関する正確な知識を身につけ、日常体験を通じてマネジメントを学ぶことです。

・**特徴 1**： 日本語の経営学・経営管理ではなく、グローバルに標準的なマネジメントの教科書を基にした独自資料に、日本語の解説をつけてマネジメントを学びます。

・**特徴 2**： 知識を日常実践に落とし込む課題を通じて、自分をマネジメントする意味や意義を体験的に理解し、より良い日常行動や習慣を身に着けます。

・**特徴 3**： セルフ・マネジメントできるようにクラスが運営されます。

3-1： 開始目標・中間目標再設定・最終評価を総合して、学生自身が自分の学習努力を評価します。

3-2： 担当者は、知識学習成果と学生独自の学び方を作り上げた点を、学生の成長として総合評価します。

・**特徴 4**： 学習する内容は、知識部分と実践部分に分かれます。

4-1： 図表を中心にマネジメント基本概念の理解・記憶という古典的な知識学習です。理解度は小テストを通じて点数として自己評価に反映させます。

4-2： 体験行動学習に特徴があります。インターネット上の映像を手がかりとする行動課題を毎週実践して、翌週のクラス全体ふりかえりで、日常行動を変えるマネジメント課題を行動次元から理解します。

・**特徴 5**： グローバル・マネジメントを学ぶ： 多文化を前提にしたグローバルマネジメントと、日本における日常行動のマネジメントの違いの意識を高めます。

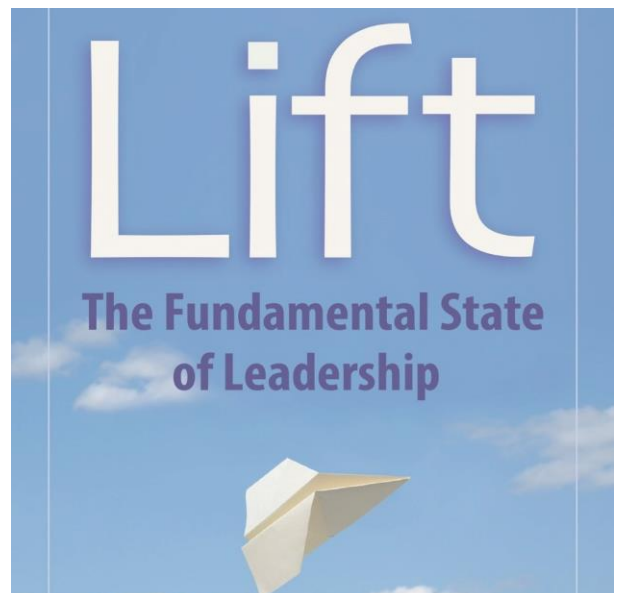
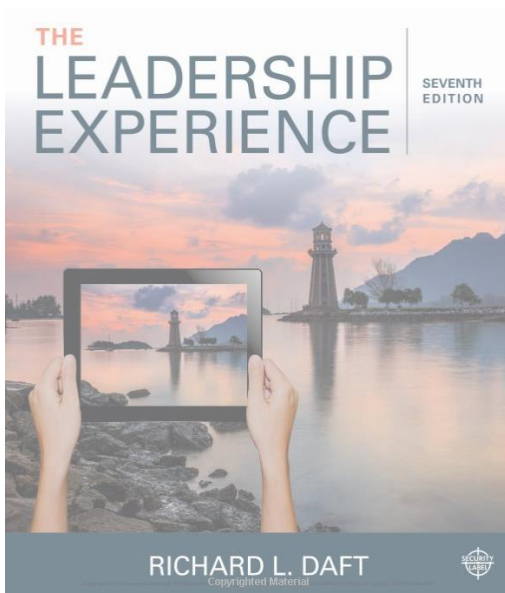
・**特徴 6**： セルフ・マネジメントの実践： 日常行動・習慣として自己理解を深める取り組みをします。

・**特徴 7**： マネジメントと倫理・道徳： 仕事を通じて人が成熟する場を運営する人として、さらに徳や志を高めるセルフ・マネジメントを行動次元から体験します。

「実践マネジメント」：人を育むリーダーとなるリーダーシップを学ぶ

なお、学部によって各科目の単位認定や単位制限の取り扱いが異なります。詳細は、各学部の履修要項を必ず参照してください。

- ・特徴 1：日本語の経営学・経営管理ではなく、グローバルに標準的なマネジメントの教科書を基にした独自資料に、日本語の解説をつけてマネジメントを学びます。
- ・特徴 2：知識を日常実践に落とし込む課題を通じて、自分をマネジメントする意味や意義を体験的に理解し、より良い日常行動や習慣を身に着けます。
- ・特徴 3：セルフ・マネジメントできるようにクラスが運営されます。
 - 3-1：開始目標・中間目標再設定・最終評価を総合して、学生自身が自分の学習努力を評価します。
 - 3-2：担当者は、知識学習成果と学生独自の学び方を作り上げた点を、学生の成長として総合評価します。
- ・特徴 4：学習する内容は、知識部分と実践部分に分かれます。
 - 4-1：図表を中心にマネジメント基本概念の理解・記憶という古典的な知識学習です。理解度は小テストを通じて点数として自己評価に反映させます。
 - 4-2：体験行動学習に特徴があります。インターネット上の映像を手がかりとする行動課題を毎週実践して、翌週のクラス全体ふりかえりで、日常行動を変えるマネジメント課題を行動次元から理解します。
- ・特徴 5：リードする人に必要な深い自己理解：リーダーシップの影響力を効果的にする知識・感情のマネジメントと、終わりのないリードする人としての自己成長に取り組みます。
- ・特徴 6：リードする人に必須の関係性とプロセスを見る力の体験：メンバーの自発的成長を促す対話の場の運営を通じた関係性の理解を日常行動から体験します。
- ・特徴 7：リードする人に必要なPurposeの探求：終わりなきPurposeを求めるリーダーとして、組織・集団を活力に満ちた存在に導く実践行動に取り組みます。



ビジネス系② ビジネスの場で求められる基礎能力の習得

決算書や各種報告書を作成・理解・利用し、ビジネスマナーとしての会計力を向上させる。

開講科目	目指す資格・能力
入門商業簿記Ⅰ・Ⅱ 商業簿記・工業簿記	日商簿記検定3級 日商簿記検定2級
入門ビジネス会計 実践ビジネス会計 入門・応用パーソナルファイナンス	ビジネス会計検定試験3級 ビジネス会計検定試験2級 ファイナンシャル・プランナー

学部により、各科目の単位認定や単位制限があり、履修可能な年次の取扱いが異なります。詳細については、各学部の履修ガイド・履修要項で必ず確認してください。

会計系の試験では、財務諸表(決算書)を作成する日商簿記検定3・2級を目指す簿記科目と、公表された財務諸表を理解し利用するビジネス会計検定3・2級を目指すビジネス会計科目がある。いずれも商工会議所主催の試験であり、2級取得者は自己の実績としても記載でき、ダブルスクールすることなく知識を習得し試験に合格することを目指した講義・演習を行う。これらの授業をもとに、さらに、各1級や税理士・公認会計士の資格取得に繋げることができる。

関連する科目⇒上級財務諸表Ⅰ・Ⅱ等の上級科目

<簿記検定・ビジネス会計検定のすみ分け>

・簿記検定は財務諸表を作成する側の能力を問う試験である。簿記独特の仕組みがあるので、初学者はその借方・貸方という用語に慣れ、仕訳の演習を繰り返し行う必要がある。講義→演習→講義を繰り返し、過去問を解くことにより、検定試験に備える。

<日商簿記検定試験の改正>

簿記2級・3級については、年3回(6月・11月・2月)予定される統一試験日にペーパーで行う従来の試験方式(統一検定方式)に加えて、随時施行が可能なネット試験方式(CBT方式)の導入が決定されており、より身近な取得が可能となる。模擬試験等はMY KONANの機能を活用して対応していく予定である。

<ビジネス会計検定試験>

一方、ビジネス会計検定は、つくられた財務諸表を利用して、その数値の意味を読み取り、取引や投資などに役立てようとするものである。今後は、経理マンでなくともこちらのニーズが高まると想定され、2級・3級についてはマークシート方式(正誤方式・選択肢方式)を採用しているためMYKONANの機能を活用してテスト等を通じて年2回(9月・3月)予定される試験に備える。

「日商簿記検定合格を目指す。」サンプル問題

次の一連の取引について仕訳を行い、与えられた勘定に転記(日付と金額のみ)しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	普 通 預 金	当 座 預 金	売 掛 金
買 掛 金	借 入 金	広 告 費	光 熱 費

18 広告宣伝費40,000円を小切手を振り出して支払った。

日付	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
18				

「ビジネス会計検定試験を目指す」 MY KONAN の機能から

【問題6】

テーマパーク等の年間フリーパスを現金で購入した場合、代金はお客さんへの販売時に事前に受けとるが、一定期間は回数の制限なく入場させる義務がありテーマパークのサービス提供は終わっていない。ゆえに、代金受領時に収益を認識することはできない。

○ ×

後で確認

○フリーパスを購入した人を一定期間入場させなければいけないという義務(履行義務)がある。よって正しい。

事例のように、正誤問題(実際は複数問の組合せになる)が多く出題されるため、頻出されている範囲や内容について解説・演習を行うが、単に試験対策だけでなく、関連する必要な知識についても取得できるように工夫している。

また、実際の報告書(決算短信)などもタイムリーにとりあげ、当該企業や企業グループを知るための勘所を講義していくことになる。

ビジネス科目の利点

企業や個人の活動は会計を通じて報告書である財務諸表にまとめられる。その過程の中で、作成・利用する立場から、事業を捉えなおすことは、就職や投資等の際に活用できるスキルを身に着けることができる。パーソナルファイナンスでは、自分のライフプランに合わせて、社会保険制度、税金、保険、金融資産運用、不動産、相続等で、学生に身近なケーススタディを通して、より実践的に理解を深める。

